

活動名: 第12回福島空港公園杯少年フットサル大会

日程: 平成30年10月13日~14日

会場: 福島空港公園緑のスポーツエリア

結果: 16位/16チーム中

1日目

リーグ戦

アーレT 0-9 柴宮

アーレT 1-10 守山

アーレT 2-11 グラート

順位決定トーナメント

アーレT 1-9 アーレLブルー

アーレT 1-3 岩根B

アーレT 3-5 リガーズ

10月13日、14日に行われました第12回福島空港公園杯少年フットサル大会に、今年はアーレLグリーン、アーレLブルー、アーレTの3チームが参加し、私はアーレTを担当させていただきましたので、報告いたします。

例年、寒さをとても感じる大会でありましたが、今年は晴天に恵まれ心地よい日差しのサッカー日和の中、とても良い環境で大会が行われました。アーレT（トップ）チームには、トップチームの女子とトップチームの選手でしたが、そこに、大会参加人数の関係で4年生選抜が加わるチーム構成でした。

普段は一緒に練習する機会のないチームではありましたが、大会中は自分の意見を伝え合う、良き仲間になっていましたし、5年生を中心に試合、試合以外にかかわらず団体行動できていて素晴らしいと感じました。

さて、試合の結果だけを見ますと非常に残念な結果となってしまったと思います。しかしながら、試合内容は精一杯のプレーを選手たちは見せてくれたと思います。相手チームは今までも対戦したことのあるチームがほとんどでしたので、ある程度のイメージはできていました。そして選手たちには試合に挑むにあたり、守りを固めることを伝えました。中央での相手選手のドリブルについて行き外側に追い込んだり、体を張ってシュートをブロックすることを何度となく繰り返してできていました。もちろん崩されてしまう場面もありましたが、気持ちは切れていなく、最後の最後まで、それが体の大きい相手に対しても立ち向かうことができました。まず、ひとつそのことがこの大会で見られた成果だと思います。

そして、もう一つの成果は、奪おうという気持ちで向かい攻撃のチャンスを何度となく作ることができたことです。自分たちができるプレーから得点したこともありましたが、得点のほとんどは相手陣地にある、相手選手がボールを保持しているものを、必死に追いかけてその結果、ボールを奪い、ゴールに結びついたものでした。あきらめていたら、絶対にゴールになっていないと思います。試合が終わった後も、負けて悔しい気持ちの中にも、走り切ったおもいもみられたことはこれからにつながると思います。

また、これからも、フットサルの大会がおこなわれます。これからの課題ですが、

○いかに自分たちのボールを奪われないようにできるか。

○正確なキックができるか。（パス、シュート）

だと思います。相手のプレッシャーに負けないでキープできたり、キックが弱かったり安定しないものでなく、しっかりボールをとらえて正確に行えるようになるなど意識して練習に取り組んでもらいたいと思います。

もう一つ今回の大会の感想ですが、これは、Lグリーン・Lブルー・Tのすべての選手たちがそれぞれの試合の応援をしていたことが非常に素晴らしいと思いました。特に、Tチームの試合はすべての試合にて失点をして、突き放される状況、追いかける状況のなかで、グリーン・ブルーの選手たちがベンチの隣で、「ドンマイ、ドンマイ」「1点とろう」「大丈夫大丈夫」「がんばれ」「〇〇〇（選手の名前）」などおおきな声で応援してくれていて、試合に出ている選手たちの力になりました。サッカーの技術ばかりでなく、選手みんなの心の成長を感じることができ、うれしいです。

最後に、ご父兄の皆様、最後の試合まで熱い応援をしていただきありがとうございました。主催者の都市公園・緑化協会の皆様、このような素晴らしい大会を運営していただきありがとうございました。大変よい経験を積むことができました。感謝申し上げます。

コーチ 佐藤







